

# アサヒ 議会だより



<https://www.city.ama.aichi.jp/gikai/>



雪の甚目寺観音（令和3年12月 撮影者：大橋勝治様）

12月定例会のあらまし	2ページ
令和3年度一般会計補正予算	3ページ
第3回臨時会のあらまし	6ページ
市政を問う（8議員が一般質問）	8ページ
議案等審議結果	14ページ
新成人が市に望むこと	16ページ

# 12月定例会のあらまし

## 児童1人当たり 現金10万円一括給付 (子育て世帯等臨時特別支援事業費)

12月定例会を、11月26日から12月21日まで開きました。

市長から条例の廃止、一部改正、総合計画基本構想の策定、指定管理者の指定、一般会計補正予算など15件が提案され、全て原案のとおり可決しました。

その他、請願10件を審議の上、1件を採択、9件を不採択、陳情2件を審議の上、採択と決定しました。

さらに、議員提出の意見書を3件可決し、26日間の会期を閉じました。

一 一般会計に17億2,300万8千円を追加し、総額を342億4,428万7千円としました。

追加した主な内容は、次のとおりです。

児童1人当たり10万円を支給する、子育て世帯等臨時特別支援事業費14億4,327万5千円。

甚目寺第1排水機場の移設に必要な事業用地を取得する、福田川改修排水機場移設事業費1億1,677万9千円。

施設利用者などの安全・安心を確保するため、既存地域密着型介護サービス事業所の修繕費用を補助する、地域介護・福祉空間整備推進事業費補助金773万円。

検診結果などの情報を国の標準様式に対応し、マイナンバー制度を活用し閲覧などができるよう健康管理システムを改修

する、がん検診事業費55万5千円。

「児童福祉のために」と使途を特定した寄付で遊具を購入する、保育園の施設整備費375万9千円。

「子どもの未来応援のために」と使途を特定した寄付で保育用品を購入する、保育園の運営費100万円。

「子どもの未来応援のために」と使途を特定した寄付でICTを活用した学習活動の充実を図る、小中学校ICT化推進事業費100万円。



移設予定の甚目寺第1排水機場

## 第2

次あま市総合計画基本構想の策定議案を可決しました。

「第1次あま市総合計画」の方向性を踏襲し、新しいまちづくりの指針となる「第2次あま市総合計画」の基本目標と施策の大綱を策定するものです。

(質問の内容は6ページに掲載しています。)

## 土

地開発基金条例及び土地取得特別会計条例を廃止する条例を可決しました。

今後、公共用地の先行取得を行う見込みが少ないため、基金および特別会計を廃止し、条例を廃止するものです。

体

施設条例の一部を改正する条例を可決しました。

令和4年4月1日より森グラウンドおよび森

ゲートボール場の使用料を新設し、既に廃止している甚目寺総合体育館内のサウナ室に係る規定を削るものです。



使用料が新設された森グラウンド

人

権擁護委員候補者、迫田百合子さした ゆりこ氏かへや(再任)、壁谷かべや紀昭氏のりあき(新任)の推薦について、適任と答申しました。

一般質問を、2月7日、8日に行いました。22人の議員のうち、8人が登壇し、市の行政全般についてさまざまな質問をしました。

一

(質問の内容は8ページから12ページまでに掲載しています。)

甚

目寺産業会館の指定管理者の指定議案を可決しました。

今年度で指定管理期間が満了するため、引き続き5年間指定するものとす。



一般会計補正予算

子育て世帯等臨時特別支援事業費  
福田川改修排水機場移設事業費

14億4327万5千円  
1億1677万9千円  
など

令和3年度一般会計補正予算は、第8号、第9号が提出され、合計で歳入歳出それぞれ17億2109万2千円を増額し、総額を342億4428万7千円とするもので、原案のとおり可決されました。

主な質疑

福田川改修排水  
機場移設事業費

子育て世帯等臨時特別支援事業費

地域介護・福祉  
空間整備推進事業費補助金

問 甚目寺第1排水機場の移設について、今後の予定は。

建設産業部長 令和5年度までに用地取得を完了、令和6年度から詳細設計を行い、その後5年程度かけて新しい排水機場を建設、移設予定。

問 令和4年4月1日に生まれた人に市独自で支給する考えは。

問 大規模修繕の詳細は。

問 基準日の9月30日以降に離婚した場合、子と同居している親が受け取れない恐れがあるが。

問 福祉部長 市独自で支給する考えはない。

福祉部長 個別に聞き取りして対応を検討したい。

福祉部長 個別に聞き取りして対応を検討したい。



採決結果

全員賛成により、原案のとおり可決。

# あま市10年の計を問う

第2次あま市総合計画基本構想の策定について、議決しました。

**問** 外国人人口が増加の見込みとのことだが、外国人への施策などは具体的に検討されたのか。

**問** 人口が全国的に減少するといわれている中、令和13年の目標人口を9万人とした理由は、**企画財政部長** 自然増と今後増えるであろう外国人などの社会増を見込み9万人を目指す。

## 主な質疑

## 第2次あま市総合計画

### あま市の将来像

ともに想い ともに創る

ずっと大好きなまち “あま”

**企画財政部長** これからの計画や事業の中で対応していきたい。

**問** 住民参加で民主主義を発展させていく方向が示されていないと思うが、**企画財政部長** 将来像の実現に向け、あま市に関わる全ての人が、それぞれの多様性を認め合い、一緒になってまちづくりを進めていくことで示している。

**問** 基本構想が市の最上位計画なので、最高規範といわれる自治基本条例が必要ではなかったか、**企画財政部長** 基本構想を策定する段階で検討していない。

**問** SDGs【注】導入に至る経緯や考え方は、**企画財政部長** 市ではこれまで、SDGsを推進する取り組みを実施し

てきたが、社会的にも機運が高まっているため。

**問** SDGsの達成度を測る数値目標の設定は、**企画財政部長** 個別具体的な数値で測定はしない。

【注】SDGs：2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っている。

**採決結果**  
賛成多数により、原案のとおり可決。



## ぜひ、ご覧ください



議会中継や会議録はインターネットでご覧いただけます。

- 議会中継…本会議での一般質問、議案質疑および最終日の採決の様様を、ケーブルテレビのクローバーチャンネル（デジタル111チャンネル）にて生中継しています。また、インターネットで録画配信（おおむね10日後配信予定）を行っています。

<https://ama-city.stream.jfit.co.jp/>

- 会議録検索…本会議や委員会の会議録をインターネットで公開しています。探したい言葉を入力すれば容易に検索することができます。

<http://www.db-search.com/ama-c/index.php/>

議会中継



会議録検索



# 市民の声を国へ届ける

委員会で意見書案を作成した際の意見を紹介します。

国の私学助成の拡充に関する意見書案

全員賛成

【意見】 公立よりも私立のほうが授業料が高く、親御さんが大変苦労されている。これから日本を背負っていく学生のためにも、学びたい人が学校に行けるよう、国に意見書を出していきたい。

18歳年度末までの医療費無料制度創設を求める意見書案

全員賛成

【意見】 国が負担を増やしていけば、自治体の負担が減り、他の行政サービスを充実することが可能になるので、国で制度を創設してもらいたい。

シルバー人材センターに対する支援を求める意見書案

全員賛成

【意見】 シルバー人材センターは、高齢者の雇用安定に寄与している団体。今般、消費税のインボイス制度に関し、いろいろな問題点があった。

国への意見書の提出を求める  
 請願・陳情が採択された場合の流れ

市民等

請願・陳情の提出

議会(本会議)

委員会に付託

委員会

審査・採決(多数決) **採択**

意見書案を作成 **可決**

議会(本会議)

審査結果を報告

審議・採決(多数決) **採択**

意見書案を提出

審議・採決(多数決) **可決**

国へ意見書を提出



今後、運営が円滑に進むためにも採択を。  
 【意見】 インボイスはシルバー人材センターから出た陳情だが、小規模事業者のインボイス制度の問題を含めて意見書としたほうがいい。

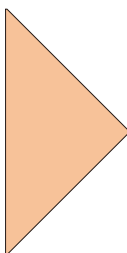
## 議決 追跡

その後どうなった？

1年前に行った決議の結果を報告します。

### 決議

一般不妊治療（体外受精・顕微授精を除く不妊治療）費助成の所得制限の撤廃を市に求める決議案を全員賛成で可決。



### こうなった

令和3年より所得制限が撤廃されました。  
 この拡充分につき、1件助成しました。



# 第3回臨時会のあらまし

## 新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金 5862万3千円

第3回臨時会を10月28日に開きました。



新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内中小企業者などの事業継続や雇用の維持を支援するためのビジネス継続サポート応援金交付事業費3810万3千円。安心して図書館を利用してもらえるよう図書除

一般計に6329万1千円を追加し、総額を325億2127万9千円としました。追加した主な内容は次のとおりです。個別接種を実施する市内の医療機関に対する、新型コロナウイルスワクチン追加接種に係る個別接種協力支援金交付事業費1250万円。

菌機を設置する、図書館費264万円。マスク着用時における園児と保育士などのコミュニケーション向上を目的に、透明素材マスクを市内の保育園・幼稚園などに配布する、保育事業費・保育園運営費各88万8千円。

**問** 国庫支出金のほか財政調整基金が466万8千円計上されている。なぜか。

**財政課長** 追加する事業を選択していく中で、全て必要だと認識し、交付金5862万3千円を上回った466万8千円を財政調整基金で補填した。

### 主な質疑



## お聴かせください!!

広報広聴特別委員会に、議会および市政に関する市民の皆さまのご意見・ご提案などをお聴かせください。

詳しくは、市公式ウェブサイトをご覧ください。



## 募集

## 表紙写真を募集します!!

「あま市議会だより」をさらに身近に感じていただき、親しまれる紙面となるよう、市民の皆様から表紙に掲載する写真を募集します。

詳しくは、市公式ウェブサイトまたは、議会だより第44号をご覧ください。



## 議会向上特別委員会 視察研修報告

## 一般質問通告内容の確認について

- 開催日 令和3年10月22日（金）
- 視察先 栃木県佐野市議会  
（オンラインによる）

現在、あま市議会では、一般質問の質問と答弁が一致しないことがあり課題となっていたため、先進地である栃木県佐野市議会にオンラインによる研修を実施しました。

佐野市議会では、一般質問実施前に、通告内容を議員と当局間で確認しあう機会を設け

ており、これにより、質問と答弁の内容が一致し、しっかりした質問、答弁を市民に示すことができ、徐々に分かりやすい一問一答方式による一般質問になっているとのことでした。

研修を通じ、本市議会でも一般質問の通告内容を確認することで、より分かりやすい一般質問になるのではと感じました。



本庁舎会議室にて



初めてオンライン視察を行いました

## 広報広聴特別委員会 視察研修報告

## 市民等から寄せられた意見などの取り扱いについて

- 開催日 令和3年10月28日（木）
- 視察先 知立市議会  
（オンラインによる）

現在、あま市議会広報広聴特別委員会では、議会および市政に関する市民からの意見・提案などをお聴きし（6ページ）、報告書にまとめ、議長に提出し、市議会ウェブサイトおよび議会だよりに掲載しています。

こうした市民から寄せられている意見をどのように取り扱っていくかが課題となっており、先進地である知立市議会にオンライン視察を行いました。

知立市議会に寄せられた意見の取り扱いについては、個人的な意見などは議会運営委員会などで協議を行っているが、これを政策提言につなげていくことは、検討課題ということでした。

また、課題のほか、知立市議会では、市民に開かれた議会として、議会報告会、委員会と市民・団体との意見交換や出前講座を開催しており、そのとき持ち帰った意見などについては、議会運営委員会などで協議をしているそうです。

議会報告会での市民からの質問に対する回答は、ウェブサイトで公開をされているということです。

また、行政側に対して回答をお願いしている「あなたのご意見」というのがウェブサイトにあるということでした。



このメンバーでオンライン視察を行いました

# 一般質問

## 市政を問う

### 8 議員が質問

各議員の顔写真の下にQRコードを掲載しています。このQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、その議員の一般質問動画をすぐに視聴することができます。

日本共産党

**野中 幸夫** 議員(9ページ)

1. 介護保険について
2. 市道路線の廃止について

公明党

**近藤 みどり** 議員(9ページ)

1. がん対策の推進について
2. ヤングケアラーの支援について

市民改革クラブ

**松下 昭憲** 議員(10ページ)

1. 美和町土地改良区第13工区について

公明党

**足立 詔子** 議員(10ページ)

1. こころの体温計の再導入について
2. G I G Aスクール構想に即した取り組みを



新政会

**石田 良雄** 議員(11ページ)

1. あま市の未来図

新政会

**山本 雄一** 議員(11ページ)

1. 防災・減災について
2. 社会福祉について

市民改革クラブ

**八島 堅志** 議員(12ページ)

1. 業務と組織の最適化について

令和会

**山内 隆久** 議員(12ページ)

1. インクルーシブな社会の実現に向けて

※会派名は以下のとおり表記しています。

市民改革クラブ(あま市民改革クラブ) 公明党(公明党あま市議団) 日本共産党(日本共産党あま市議団) 新政会(新政会) 令和会(令和会)



## 介護保険について



日本共産党 野中 幸夫 議員 (一問一答方式)



迎える2040年を見越して計画的に  
取り崩していく。

**問** 法律との関係でどうかを聞いてい  
る。

**問** 介護給付費準備基金(基金)につ  
いて、令和3年4月1日時点の残高と、  
第8期介護保険事業計画(令和3年度  
〜5年度)の基金繰入額は。

**福祉部長** 基金残高は、12億4977  
万855円。第8期介護保険事業計画  
期間中の基金繰入額は、2億6800  
万円を予定。

**問** 65歳以上の介護保険料は、基準額  
と言われる第5段階で年間6万480  
0円、月額5400円。年間2400  
円、月額200円値上げしているが。

**福祉部長** 言われるとおり。

**問** 介護保険法第129条第3項で、  
市町村が定める保険料率は、おおむね  
3年を通じ財政の均衡を保つものとし  
ている。被保険者1人当たり5万3千  
円の基金があり、介護保険料の引き下  
げが可能ではないか。

**福祉部長** 団塊ジュニア世代が65歳を

**高齡福祉課長** 法律上は3年間の計画  
期間中、最終年度に残額がある場合は、  
次期保険料を見込むため取り崩すこと  
が基本になっているが、中長期的に介  
護サービスを使う人が増えるので、急  
激な保険料の増加にならないようにし  
た。

**問** 基金は3年間で使っていくとの法  
律があるのに、中長期的な答弁になる  
のか。

**高齡福祉課長** 法律は理解している。

**問** 厚生労働省の資料でも、計画期間  
内の保険料は各計画期間内の保険料で  
賄うことを原則とするとしている。約  
12億4900万円の基金は介護保険料  
引き下げのために取り崩すべきでは。

**福祉部長** 今後検討する。

他に、「市道路線の廃止について」も質  
問しました。

## がん対策の推進について



党公明 近藤 みどり 議員 (一問一答方式)



する「アピアランスケア」助成制度の  
導入を検討するべきと考えるが、市の  
見解は。

**市民生活部長** 国や県による制度の在  
り方を踏まえながら、近隣市町村の情  
報を収集して検討していきたい。

**問** 子宮頸がん予防ワクチンは、小学  
6年生から高校1年生相当の女子が希  
望すれば無料で接種可能。接種後の症  
状により、平成25年から国は積極的勧  
奨を控えるとしていた。市の現況は。

**市民生活部長** 接種率は令和2年度  
2・90%、元年度0・39%。平成25年  
度以降、高校1年生相当の人のみはが  
きで個別通知を行っている。

**問** 国は積極的勧奨を令和4年4月か  
ら再開する。市の対応と今後の予定は。

**市民生活部長** 国の資料を基に、市公  
式ウェブサイトや市公式LINEなど  
で周知していく。

**問** 接種の機会を逃した人に費用の一  
部でも補助する考えは。

**市民生活部長** 国の動向を注視しなが  
ら、市としても対応していきたい。

**問** がん治療に伴う脱毛など外観の変  
化のケアを、経済面と精神面から支援

**問** 小中学校におけるオンラインも含  
めた外部講師による「がん教育」授業  
実施の必要性の考えは。

**教育部長** 文部科学省のガイドライン  
や補助教材の資料などを参考にオンラ  
インも含めた手法も研究していきたい。

### ヤングケアラーの支援につ いて

**問** 病気や障がいのある家族がいる家  
庭で、家事などを担う18歳未満の子ど  
も「ヤングケアラー」の早期発見の取  
り組み、周知やサポート体制など、寄  
り添った切れ目のない支援が必要と考  
えるが、市の考えは。

**市長** ハンドブックなどを作成して地  
域へ周知し、市として何ができるか研  
究しサポートしていきたい。

# 美和町土地改良区第13工区について



議員  
市民改革クラブ  
松下 昭憲  
(一問一答方式)



議員  
(一問一答方式)

**問** 二重売買されている土地があるよ

うだが、このような土地があるか。

**総務部長** 蜂須賀グラウンドは昭和49

年と55年に一般廃棄物最終処分場用地として各所有者から購入し、その後グラウンドとして整備した。土地改良事業中であるため、一時利用地の場所と地籍に応じて売買契約を締結し、買収した一時利用地に対応する従前地の所有権移転登記を行っており、土地を二重に購入していることはない。

**問** 現況課税の考え方(農地転用・地目変更など)について、一定の条件を満たしていれば土地改良事業中の土地でも変更手続きを行えば地目変更はできるのではないか。農地転用が済んだ土地は現況課税をするべきではないか。

**総務部長** 法務局によると土地改良事業中の区域にある土地の登記について、農地転用が済んだ土地でも、そのまま田畑のままにしていることはあるとのこと。それとは別に、税務課では農地転用許可の済んだ土地の課税は、登記にかかわらず、従前課税の現況課税として現況に即した課税をしている。

**問** 蜂須賀グラウンドの登記はどのような状況か、登記の現況は。

**総務部長** 土地改良事業中のため、一時利用地に対応する従前地の所有者は、あま市として登記済み。登記上の地目は、田畑となっている。



蜂須賀グラウンド

# こころの体温計の再導入について



議員  
公明党  
足立 詔子  
(一問一答方式)



議員  
(一問一答方式)

今後もあらゆる角度から情報を収集し、

どのような対応がよいか継続的に検討していく。

**GIGAスクール構想に即した取り組みを**

**問** こころの体温計の効果と廃止の理由は。

**市民生活部長** こころの体温計でセルフチェック後、市公式ウェブサイトの相談窓口を案内することができた。さまざまな媒体からセルフチェックの指標や相談窓口にあくせすでき、こころの体温計は一定の役割を果たしたと判断したため廃止した。

**問** 令和2年度からの過去3年間のあくせす数は。

**市民生活部長** 平成30年度1万6667件、令和元年度1万3937件、令和2年度1万722件。

**問** 市公式ウェブサイトという安全なサイトであるからこそ、利用する価値があり、こころの体温計の再導入が必要ではないか。

**市民生活部長** こころの体温計の再導入について、現在は考えていないが、

**問** 小中学校での情報モラル教育の取り組みは。

**教育部長** 各学校では、講師から携帯電話やSNS利用における使用方法などを学んでいる。また、総合学習の時間に情報機器との使い方を直直し、特別の教科道德の時間に良好な交友関係を築くヒントを学んでいる。

**問** 日常的なタブレット端末の利用の考えは。

**教育部長** 児童生徒がタブレット機器を操作するスキルは、予想を上回るスピードで身に付いている。児童生徒が学習を効果的に効率よく進めるため、自身の知識や技能を思考・判断・表現するためのICT機器の利用を検討していきたい。

## あま市の未来図



新政会 石田 良雄 議員  
(一問一答方式)



だが、今後は。

**教育部長** 引き続きオーガニック食材の活用について研究を進めていきたい。

**問** 安心して出産できる取り組みとして、出産祝い金をどう考えているか。

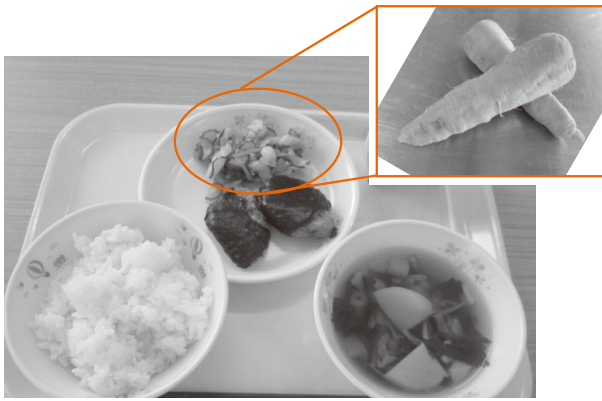
**福祉部長** 他自治体の状況も把握しながら研究していく。

**問** 市の未来図をどう考えているか。

**市長** オーガニック給食、ゼロ歳児歯科健診などを実施しており、地域企業とコラボした出産祝いも考えている。

あま市の未来を担う子どもたちに対し、さまざまな事業を行っていく。

- 問** 市内事業所へ市が実施する工事などの優先発注を積極的に進めることで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内経済の活性化や市内事業所の育成、雇用を図れると考えるが。
- 総務部長** 発注事業によるが、市内に事業所を有するなど、地域要件を指名基準や評価項目の一つとして取り扱っている。どのような形で公正性を確保していくかなどを研究していきたい。
- 問** 義務教育を楽しく送る取り組みは。
- 教育部長** ①スクールサポーターの配置、②昔遊び体験や異学年交流、国際交流など特色ある学校づくりの実施、③学校運営協議会の設置、④1人1台タブレットを用いての授業、など。
- 問** 1年前にも質問したが、再度、クラス会議をどう考えているか。
- 教育部長** 校長会議で引き続き紹介。給食でオーガニック食材を使用し



オーガニック食材(ニンジン)を使用した給食

## 防災・減災について



新政会 山本 雄一 議員  
(一問一答方式)



とどなく、流下能力も低い。ポンプ施設は、その排水面積に対しての排水能力が足りてない。

**問** このエリアの住民の生命、財産を守るために、浸水被害予防のための根本的な水害対策を検討しているか。

**建設産業部長** 中長期的なスパンで雨水流出抑制対策や内水被害軽減対策を引き続き検討したい。

**問** 中長期的に考えるのであれば中長期的な計画があると思う。緊急自然災害防止対策事業債は、緊急自然災害防止対策事業計画が必要。こういった計画はもう既にあるか。

**建設産業部長** そういった計画も含めて、今後検討していければいい。

他に、「社会福祉について」も質問しました。

- 問** 東海豪雨の後、特定都市河川浸水被害対策法が成立した。特定都市河川流域自治体における雨水貯留施設の整備状況は。
- 建設産業部長** 近隣では、名古屋市5282立方メートル、清須市2万330立方メートル、北名古屋1万4748立方メートル、稲沢市約1万立方メートル、岩倉市約4000立方メートル、大治町1200立方メートル。
- 問** あま市当該流域エリアの雨水貯留施設の整備状況は。
- 建設産業部長** コミュニティプラザ萱津に163立方メートル。
- 問** このエリアに、雨水貯留施設の整備を検討しているか。
- 建設産業部長** 整備予定はない。
- 問** このエリアの排水路現況調査の結果は。
- 建設産業部長** 水路は、水路勾配もほ

# 業務と組織の最適化について



議員  
市民改革クラブ  
八島 堅志



議（一問一答方式）

検討されているが、本市は。

**企画財政部長** 窓口は検討していない

が、地域包括支援センターで対応する。

**問** 人口増加率日本一の千葉県流山市

マーケティング課のような魅力を発信

する取り組みは。また、予定は。

**企画財政部長** 市の実情や特色を生か

しながら検討を進める。

**問** 住民からのさまざまな要望に応え、お金と質の高いサービスを生み出すため、複数の部署にまたがり行われている同一業務を一括して行う部署をつくり、業務効率化をしては。

**企画財政部長** 公共施設の一元的な管理体制を検討する。維持管理を統括して行う課の創設は研究する。

**問** 民間の管理者に市内施設の一括管理を委託する公共施設一括管理業務委託の検討は。

**総務部長** 今後の課題とする。

**問** 少子化に対応すべく、子育て支援と学校教育を統合した部署をつくり、切れ目のない支援をしては。

**企画財政部長** 国におけることも庁創設の状況も踏まえ検討する。

**問** 他市では、高齢化に対応すべく、福祉関連の窓口を近接し、ワンストップで手続きや相談ができる取り組みが



都市公園除草作業の様子

# インクルーシブな社会の実現に向けて



議員  
令和  
山内 隆久



議（一問一答方式）

スクールサポーターの教育支援やユニ

バーサルデザインに取り組んでいる。

今後はタブレットの活用を研究したい。

**問** 公共施設をインクルーシブにする

取り組みは。

**企画財政部長** あま市公共施設等総合

管理計画にユニバーサルデザイン化の

推進方針を記載する予定をしている。

**問** インクルーシブ公園についての考

えは。

**市長** 子どもだけでなく高齢者・障がいのある人など、さまざまな人が利用できるような公園整備を考えたい。

**問** 市の新総合計画策定においてSDGsの推進が掲げられているが、インクルーシブ【注】は重要なテーマ。国や県の方針は。市の取り組みは。

**企画財政部長** 国は共生社会の実現に向けユニバーサルデザイン2020行動計画を、愛知県はSDGs未来都市計画やあいちビジョン2030で年齢・性別・国籍・障がいの有無にかかわらず、全ての人が参加し生涯活躍できる社会づくりを進めている。市では第1次総合計画で人権を尊重する共助のまちをつくと定め、条例を制定し施策を推進している。

【注】インクルーシブ：SDGsの17の開発目標に複数回登場する言葉で「包摂的な」と訳されており、国は誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の共生社会を目指すとしている。

**問** インクルーシブ社会の実現には教育が重要な目標とされているが。

**教育部長** インクルーシブ教育は学習指導に配慮しつつ、特別な支援を必要とする児童生徒も一緒に学べるような共生社会づくりを目指している。現在、

# 追跡 一般質問

## その後どうなった？

1年前に行われた一般質問の結果を報告します。

### 質 問

全庁的に調整できる情報システムに関する組織の検討は。

### こうなった

国の行政デジタル化への動きの対応や全庁的な情報システムの構築に取り組むため、令和3年4月に情報推進課を新設した。



新設された情報推進課

### 質 問

本市が被災したときは近隣自治体も混乱のさなかかと思うが、本市から離れた地域との協定は。

### こうなった

令和3年2月9日にリモートで沖縄県名護市と災害協定締結式を行った。

その後は、沖縄県に台風被害があった場合など、電話にて被害状況や必要な支援を確認するなどして友好関係を構築している。



大規模災害時における相互応援協定締結式

# 定例会議案等審議結果

■提出された議案と審議結果 【結果の表示記号】◎全員賛成 ○賛成多数 △賛成少数

【第3回臨時会(10月28日)】

議案番号	件名	結果
議案第47号	令和3年度あま市一般会計補正予算(第6号)	◎

【12月定例会】

議案番号	件名	結果
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(損害賠償の額の決定及び和解について)	◎
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度あま市一般会計補正予算(第7号))	◎
議案第48号	あま市土地開発基金条例及びあま市土地取得特別会計条例を廃止する条例について	◎
議案第49号	あま市体育施設条例の一部を改正する条例について	◎
議案第50号	あま市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	◎
議案第51号	あま市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	◎
議案第52号	第2次あま市総合計画基本構想の策定について	○
議案第53号	あま市甚目寺産業会館の指定管理者の指定について	◎
議案第54号	令和3年度あま市一般会計補正予算(第8号)	◎
議案第55号	令和3年度あま市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	◎
議案第56号	令和3年度あま市介護保険特別会計補正予算(第2号)	◎
議案第57号	令和3年度あま市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	◎
諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦について(追田百合子氏)	◎
諮問第6号	人権擁護委員候補者の推薦について(壁谷紀昭氏)	◎
請願第8号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(75歳以上の医療費患者負担2割引上げをはじめ、これ以上の患者窓口負担増の計画中止を求める意見書の提出を求める請願書)	△
請願第9号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(国民健康保険の国庫負担抜本的引上げや出産手当・傷病手当の予算措置を行うことを求める意見書の提出を求める請願書)	△
請願第10号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(年金引下げの中止、安心できる年金制度を求める意見書の提出を求める請願書)	△

議案番号	件名	結果
請願第11号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(介護保険制度の改善を求める意見書の提出を求める請願書)	△
請願第12号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(18歳年度末までの医療費無料制度創設を求める意見書の提出を求める請願書)	○
請願第13号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(障害者が安心して生活できる「暮らしの場」の整備を求める意見書の提出を求める請願書)	△
請願第14号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(新型コロナウイルス感染症に関わる医療・介護・福祉・保育事業所等への支援強化を求める意見書の提出を求める請願書)	△
請願第15号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(福祉医療制度を守り、拡充を求める意見書の提出を求める請願書)	△
請願第16号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(愛知県独自の国民健康保険への支援を求める意見書の提出を求める請願書)	△
請願第17号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(新型コロナウイルス感染症に関わる医療・介護・福祉・保育事業所等への支援強化を求める意見書の提出を求める請願書)	△
陳情第2号	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	◎
陳情第3号	シルバー人材センターに対する支援を求める要望書	◎
議案第58号	令和3年度あま市一般会計補正予算(第9号)	◎
発議第6号	18歳年度末までの医療費無料制度創設を求める意見書の提出について	◎
発議第7号	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出について	◎
発議第8号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出について	◎

※発議とは、議員が提出した議案です。

議案は市長だけでなく、議員や委員会も提出できます。

# 第3回臨時会・12月

【賛否の分かれた議案】 ※ 下記以外の案件は、全員賛成で可決

## 【12月定例会】

議案 番号	市民改革 クラブ				公明党			日本 共産党	志政会					新政会				令和会		無			
	加藤哲生	八島堅志	松下昭憲	岩本一三	近藤みどり	足立詔子	柏原功	野中幸夫	宮地直宣	森耕治	後藤哲哉	林正彦	奥田哲弘	横井敏夫	山本雄一	佐藤貞夫	石田良雄	前田豊光	糸野俊弘	山内隆久	後藤幸正	伊藤嘉規	
議案 第52号	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願 第8号	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
請願 第9号	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
請願 第10号	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
請願 第11号	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
請願 第12号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願 第13号	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
請願 第14号	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
請願 第15号	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
請願 第16号	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
請願 第17号	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—

※表示について ○：賛成 ×：反対 —：議長は採決に加わりません。

※網掛けは、討論を行った議員です。

※会派は届出順。会派名は以下のとおり表記しています。

市民改革クラブ（あま市民改革クラブ） 公明党（公明党あま市議団） 日本共産党（日本共産党あま市議団） 志政会（志政会）

新政会（新政会） 令和会（令和会） 無（無会派）

# 新成人が市に望むこと



七宝中学校  
成人式実行委員

私たちが今のあま市に望むことは、大型商業施設や市民が自由に使うことのできる運動施設を充実させることです。

施設があることで、若者やファミリー層に「あま市」の存在を認知してもらえたり、若者の雇用を増やすことにつながり、定住するきっかけになるのではないのでしょうか。

また、多くの市民が利用することができると、世代間交流につながり、まさに活気があふれ、あま市がより充実したものになると思います。

一度地元を離れた人や、今後離れていく人も、戻って来たいと思えるようなまちになることを願っています。



七宝北中学校  
成人式実行委員

これからのあま市に望むことは、複合的な施設の整備です。複合的な施設とは、スポーツができる場所、高齢者などが楽しめる場所、高年齢などが楽しめる場所、ウォーキングやランニングができるような遊歩道、景色を見ながら話ができる場所を想像しています。

このような施設のメリットとしては、高齢者の健康寿命が延び、介護士の負担軽減になります。他にも、スポーツをする場所ができることでコミュニティの拡大にもつながります。

こうしたことを勘案して、複合的な施設を造ることであま市民の生活の質を上げ、勇健都市に近づけることができるのではないのでしょうか。



美和中学校  
成人式実行委員

私たちがこれからのあま市に望むことは、将来あま市を担う子どもたちが安全に伸び伸びと遊べる施設などが増えることです。

例えば、市民プールや児童館以外の室内で遊べる施設を造ることで、子ども同士の交流や身体を動かす機会を増やすことができます。

また、七宝焼や福島正則ゆかりの地などに関わることが少ないと感じるため、子どもたち自身があま市を好きになるようなイベントを行い、あま市の魅力を子どもたちを中心に広げてもらいたいのです。

あま市が今よりもっと素敵なまちになることを願っています。



甚目寺中学校  
成人式実行委員

最近のあま市は、若者が都会に流れていき、若者と地域との希薄化を感じるため、地域とのコミュニケーションを取る機会が必要です。

多くの世代の人とコミュニケーションを取ることで新たな発見ができ、自分の生活も実りあるものへと変化していくと思います。

また、少子化、人口減少が深刻化していく中で、地域とのつながりを持つて助け合っていくことが必要不可欠です。子育て・教育支援の面でも環境を充実させることで生活への不安を軽減でき、子育てしやすいまちとなり、人口減少に歯止めをかけることができるのではないのでしょうか。



甚目寺南中学校  
成人式実行委員

あま市に望むことは、若者に優しいまちづくりの推進です。

少子高齢化社会において次世代を考えていくことは重要であり、直接の影響があると思います。

「晩婚化」や「高齢出産」を日常生活で耳にするようになってきている中で、根本的な解決策に転じていく必要があります。

若者が結婚しやすく、子育て支援の充実した社会をつくることは容易ではありませんが、現状を維持するだけでは世代間倫理の観点において望ましいことではなく、次の世代につなげていく意識が重要になります。

あま市で育った身としてまちが発展していくことを願っています。

## 3月定例会予定

3月25日(木)	3月17日(木)	3月16日(水)	3月15日(火)	3月7日(月)、8日(火)、9日(水)	2月24日(木)
閉会	討論・採決	厚生委員会	総務文教委員会	議案質疑	開会
		建設産業委員会		一般質問	議案説明
					議案説明

※日程は変更となる場合があります。

### ■広報広聴特別委員会 (委員は議席番号順)

委員長	足立 詔子
副委員長	八島 堅志
委員	宮地 直宣
	野中 幸夫
	山本 雄一
	横井 敏夫
	山内 隆久
	後藤 幸正

発行/あま市議会 編集/広報広聴特別委員会

〒490-1198 愛知県あま市甚目寺二伴田76番地 TEL 052-444-3174 FAX 052-444-4055